

# 水防関係に係る話題提供・情報共有

令和5年6月2日

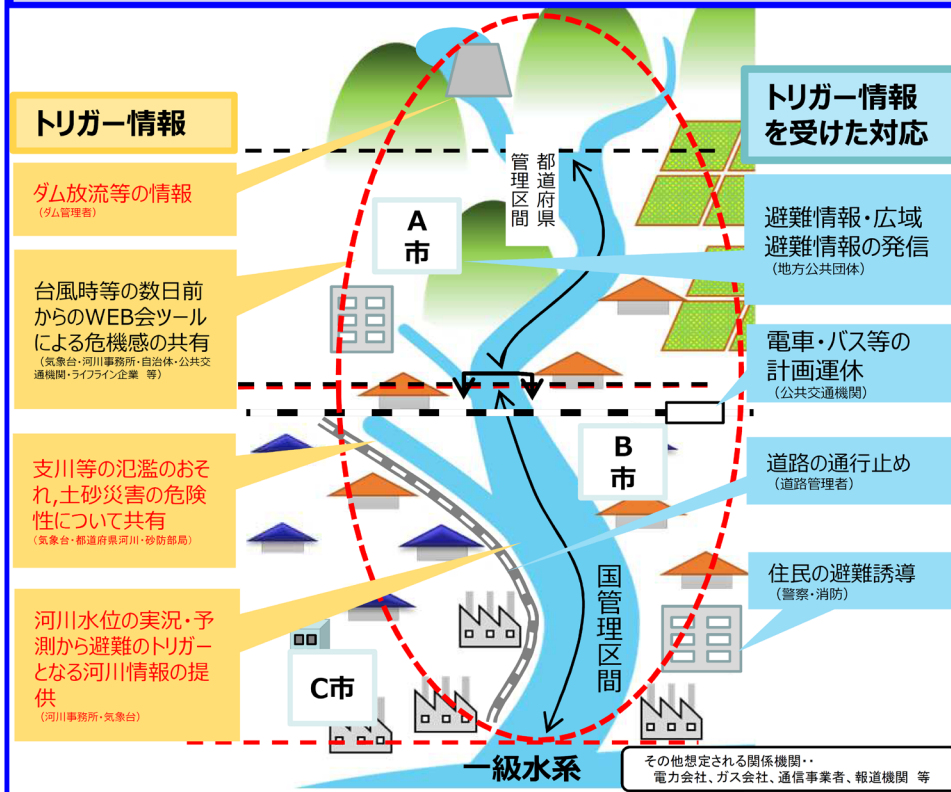
鈴鹿川外・雲出川外・櫛田川外・宮川外  
大規模氾濫減災協議会(合同協議会)

- ・流域タイムラインの運用について……………2
- ・水害リスク情報の充実(水害リスクマップ(浸水頻度図)の整備)  
……………6
- ・洪水に関する危険度情報の一体配信……………7
- ・ワンコイン浸水センサ～官民連携による流域の浸水状況把握～  
……………14
- ・市町村災害対応統合システム「IDR4M」について……………19



- 国土交通省防災業務計画（令和3年10月）により、「**避難情報に着目した水害対応タイムラインを複数の市区町村等を対象とした流域タイムライン**」の見直しに着手。
- 大規模災害を見据え、広域避難などにも対応するため、流域の都道府県や市区町村に加え、公共交通機関など多くの関係者が連携して作成。
- 国管理河川の流域では、**148**個の流域タイムラインを作成し、**1,153**市区町村が参加（令和5年3月末時点）。今後は、地域の状況に応じてさらに指定区間市町村や関係機関を拡大し、市区町村タイムラインなどとの相互連携を推進。

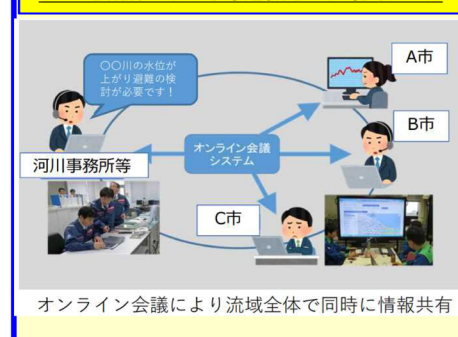
## 流域タイムラインのイメージ



## 水害対応タイムラインと法定計画との関係

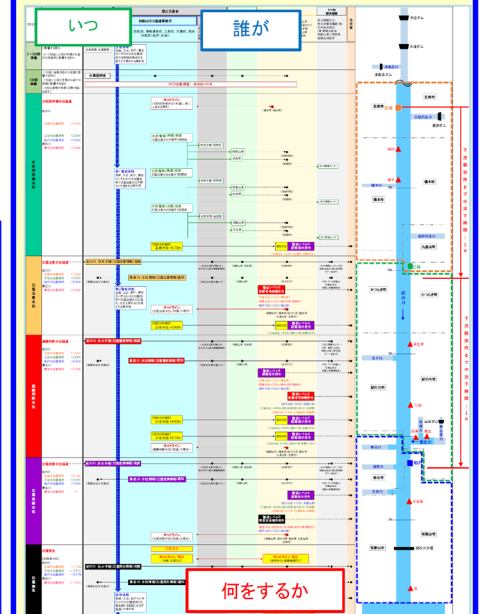
領域	法定計画等 (作成主体)	タイムライン
流域	国土交通省防災業務計画等 (地方整備局等、事務所等)	流域タイムライン
市区町村	地域防災計画 (市区町村)	市区町村タイムライン
地区	地区防災計画 (自治会、自主防災組織)	コミュニティタイムライン
個人事業者等	避難確保計画 (要配慮者利用施設) 個別避難計画(要配慮者)	マイ・タイムライン

## WEB会議ツールによる危機感の共有イメージ

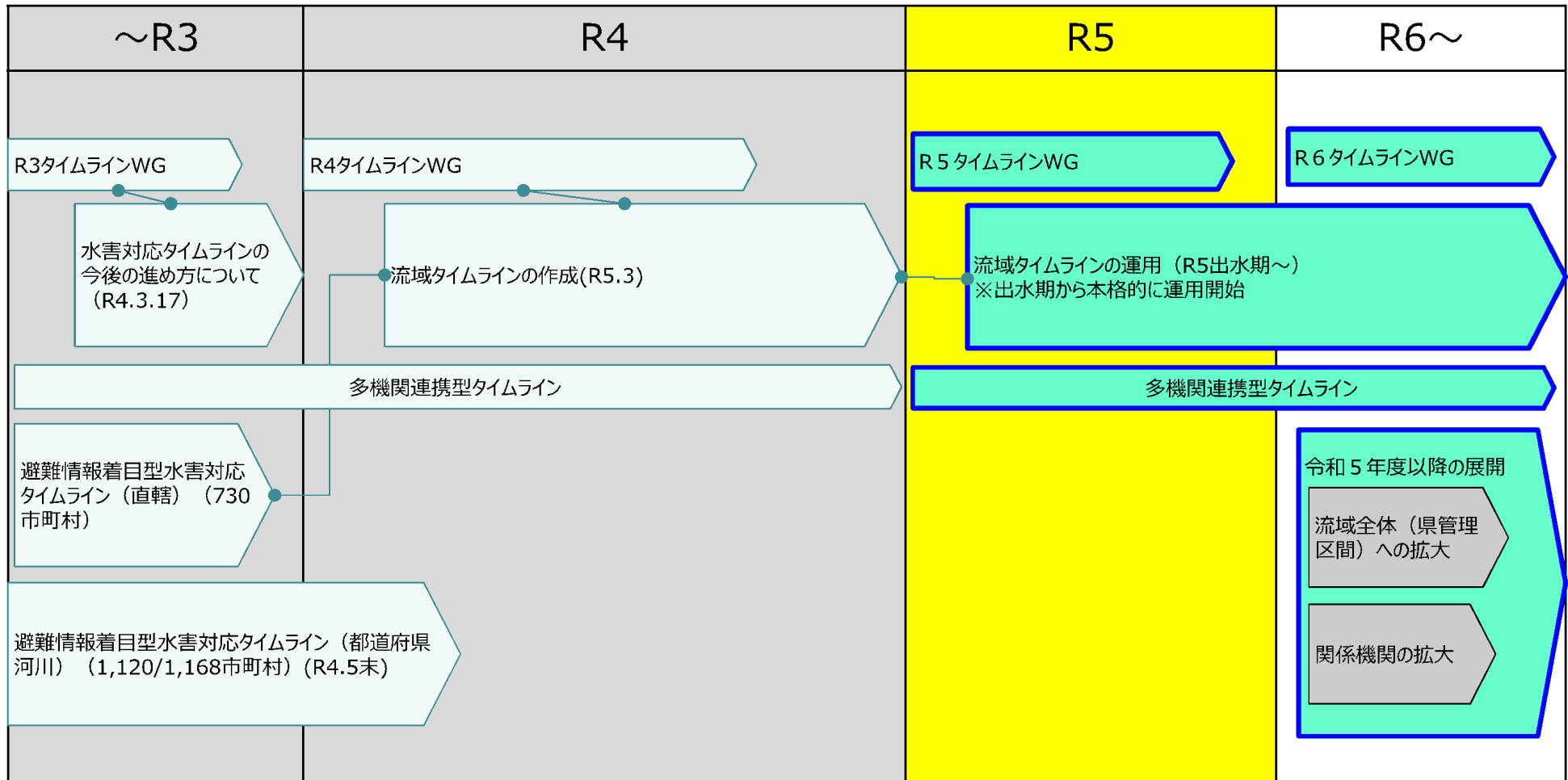


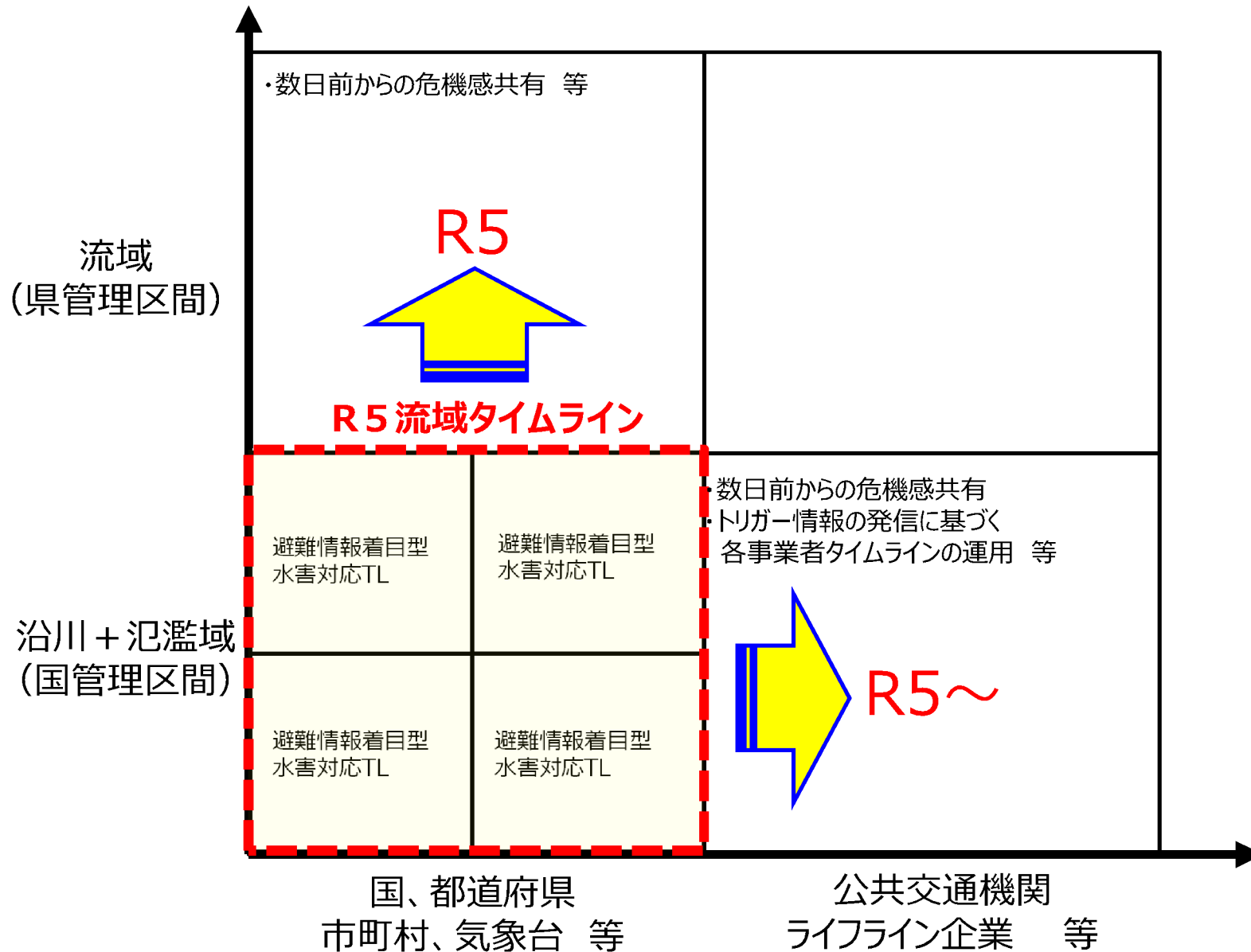
## 帳票イメージ

- 洪水時の氾濫発生を前提に、河川管理者、市区町村長、その他関係機関が連携して「**いつ」「誰が」「何をするか**」に着目した防災行動とその実施主体を時系列で整理。
- トリガー情報を受けた市町村や関係機関は各タイムラインに沿った防災行動を実施。



目的		令和5年度以降の方向性	
1	洪水時の住民避難	1	流域タイムライン関係機関の拡大 (ex公共交通機関、ライフライン企業 等)
2	広域避難・計画運休等洪水被害削減	2	流域タイムラインの適用範囲の拡大 (直轄沿川+氾濫域→流域全体へ)





R5.3末時点

流域タイムライン作成状況										
地整等	流域タイムライン				WEB会議ツールによる危機感共有				作成目標	作成状況
	国管理区間		指定区間		国管理区間		指定区間			
	参加	未参加	参加	未参加	参加	未参加	参加	未参加		
北海道	99	0	33	18	99	0	50	1	20	20
東北	98	0	2	63	98	0	52	13	15	15
関東	269	0	0	73	137	1	0	120	14	14
北陸	76	0	57	3	64	2	51	6	15	15
中部	150	4	6	8	150	13	7	8	19	19
近畿	96	0	7	71	96	1	14	64	19	17
中国	36	0	21	26	36	0	21	26	14	14
四国	46	0	14	7	46	0	16	5	13	13
九州	114	0	29	57	118	0	41	45	22	21
合計	715	4	169	253	707	16	252	168	137	134

- 国土交通省では、土地利用や住まい方の工夫の検討及び水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討など、流域治水の取組を推進することを目的として、発生頻度が高い降雨規模の場合に想定される浸水範囲や浸水深を明らかにするため、「多段階の浸水想定図」及び「水害リスクマップ」を公表。
- なお、現在の多段階の浸水想定図及び水害リスクマップは、国管理河川の氾濫のみを示している。

## <多段階の浸水想定図と水害リスクマップについて>

### [多段階の浸水想定図]

- 公表済みの想定最大規模に加え、より頻度の高い複数の年超過確率毎に多段階の浸水想定図を作成。
- 今回作成した多段階の浸水想定図は以下の年超過確率の図面。

【鈴鹿川水系】 1/10・1/30・1/50・1/100・1/150

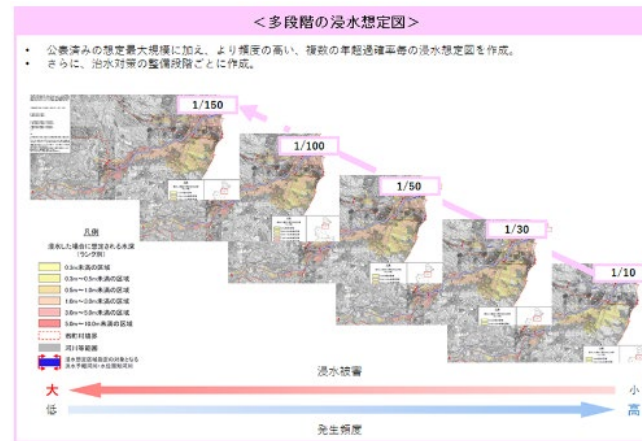
【雲出川水系】 1/10・1/30・1/50・1/100

【櫛田川水系】 1/10・1/30・1/50・1/100

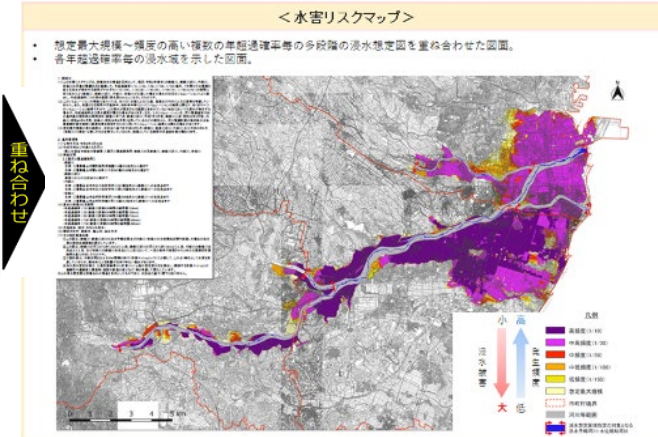
【宮川水系】 1/10・1/30・1/50・1/100

### [水害リスクマップ]

- 水害リスクマップは、1/10～想定最大規模降雨の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせた図面。
- 以下の浸水深毎に水害リスクマップを作成。
  - ・浸水深 0cm 以上
  - ・浸水深 50cm(床上浸水想定)以上
  - ・浸水深 3m(1階居室浸水相当)以上



重ね合わせ



### <水害リスクマップの活用イメージ>

- 住居・企業の立地誘導・立地選択や水害保険への反映等に活用することで、水害リスクを踏まえた土地利用・住まい方の工夫等促進
- 企業BCPへの反映を促進することで、洪水時の事業資産の損害を最小限にとどめることにより、事業の継続・早期復旧を図る

### 【今後の予定】

- 中期・中長期整備後の多段階の浸水想定図・水害リスクマップの作成
- 内外水一体モデルのリスクマップの拡張



## 水害リスクライン

避難情報に関するガイドラインに一部加筆

### 「国管理河川の洪水の危険度分布（水害リスクライン）」について

国管理河川では、数 km～数十 km の予報区域を対象に発表する洪水予報等に加えて、縦断的な水位（水面形）を計算により推定し、左右岸それぞれ、概ね200m ごとの洪水の危険度分布（水害リスクライン）を令和2年より提供している。

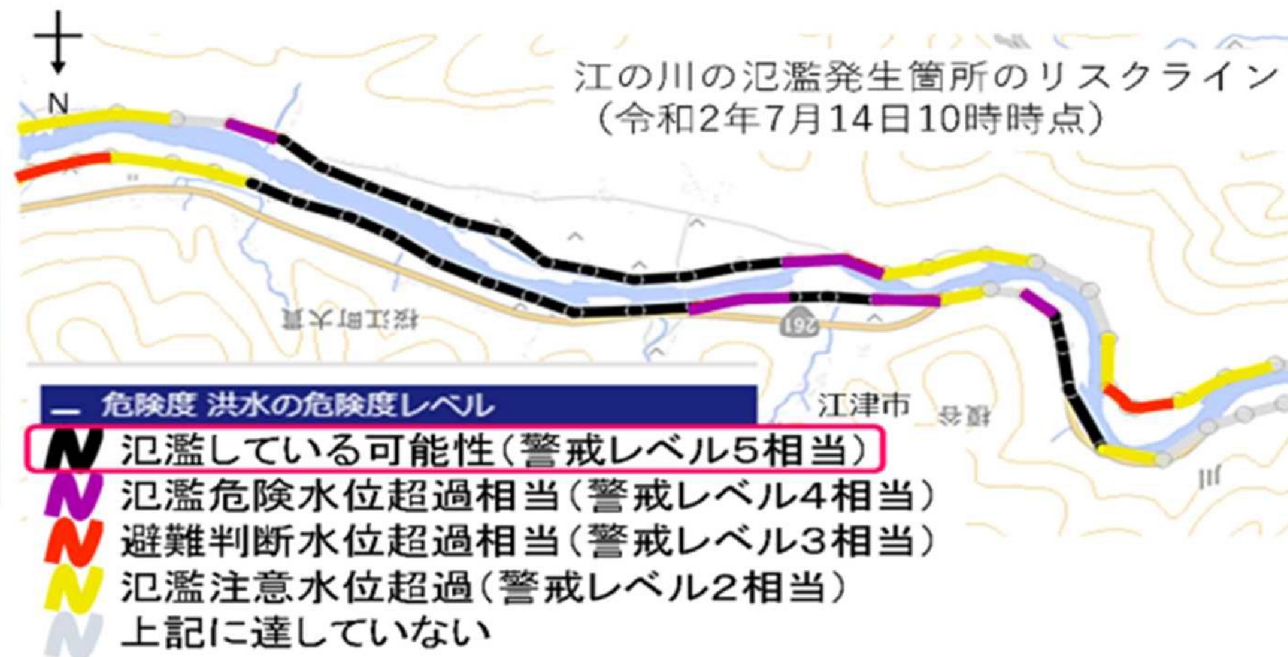
概ね200mごとに推定した水位が、堤防等の高さを超過し、氾濫している可能性のある箇所を黒色（警戒レベル5相当情報）で表示するなど、各箇所の危険度をきめ細かく把握できることから、避難情報発令の参考にできる。

<https://frl.river.go.jp/>（一般向けに現況値を提供）

※市町村向けサイトでは、6 時間先までの水位予測や危険度分布を提供。



実際の河川の状況



## 洪水キキクル

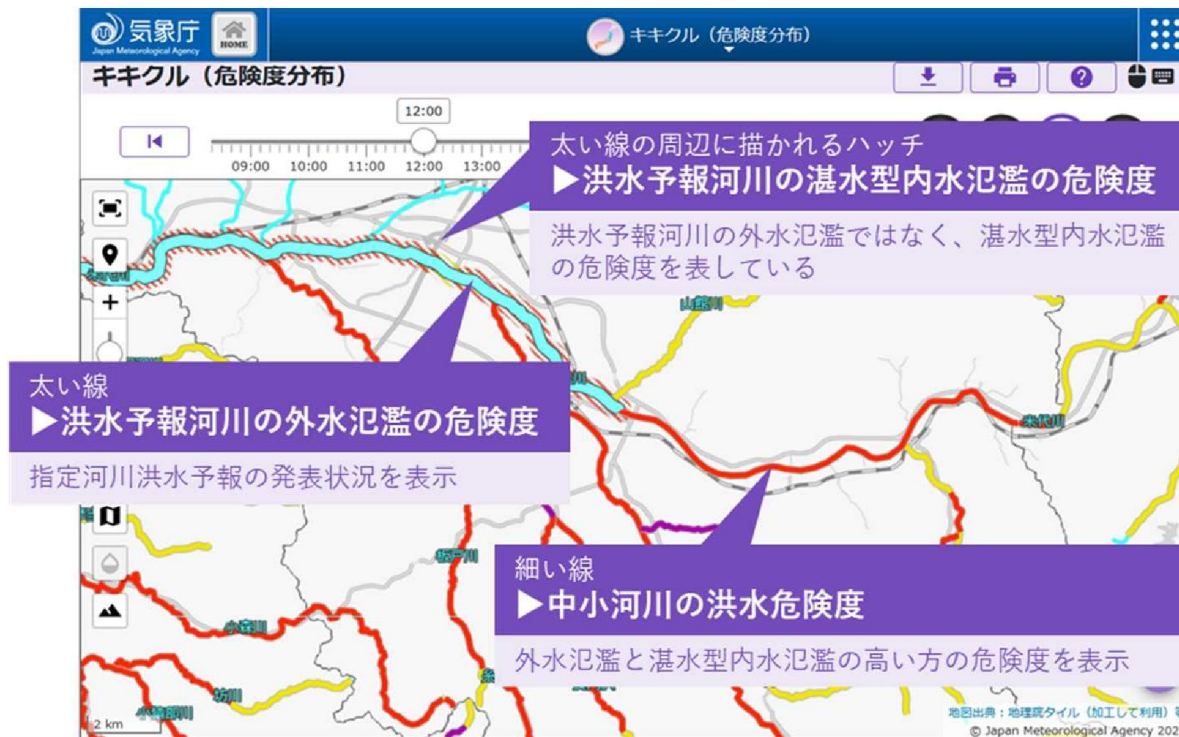
避難情報に関するガイドラインより引用

### 洪水警報の危険度分布について

「洪水警報の危険度分布」は、洪水警報を補足する情報である。指定河川洪水予報の発表対象ではない中小河川（水位周知河川及びその他河川）の洪水災害発生危険度の高まりの予測を示しており、洪水警報等が発表されたときに、どこで危険度が高まるかを面的に確認することができる。流域雨量指数の実況値又は3時間先までの予測値が洪水警報等の基準値に到達したかどうかで、危険度を5段階に判定し、色分け表示している。

令和3年2月24日より、気象庁ホームページがリニューアルされ、雨雲画像と3種類の危険度分布（土砂災害、浸水害、洪水）を一つの画面で監視できるようになっている。

([https://www.jma.go.jp/bosai/#pattern=rain\\_level](https://www.jma.go.jp/bosai/#pattern=rain_level))





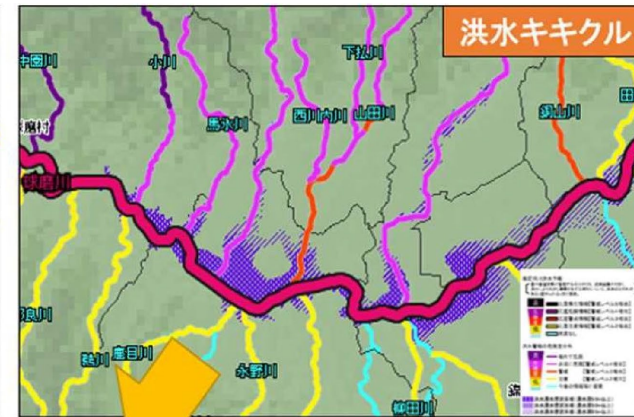
## 「国管理河川の洪水の危険度分布※」 (水害リスクライン)

※ 大河川のきめ細かな越水・溢水の危険度を伝える



## 「洪水警報の危険度分布※」 (洪水キキクル)

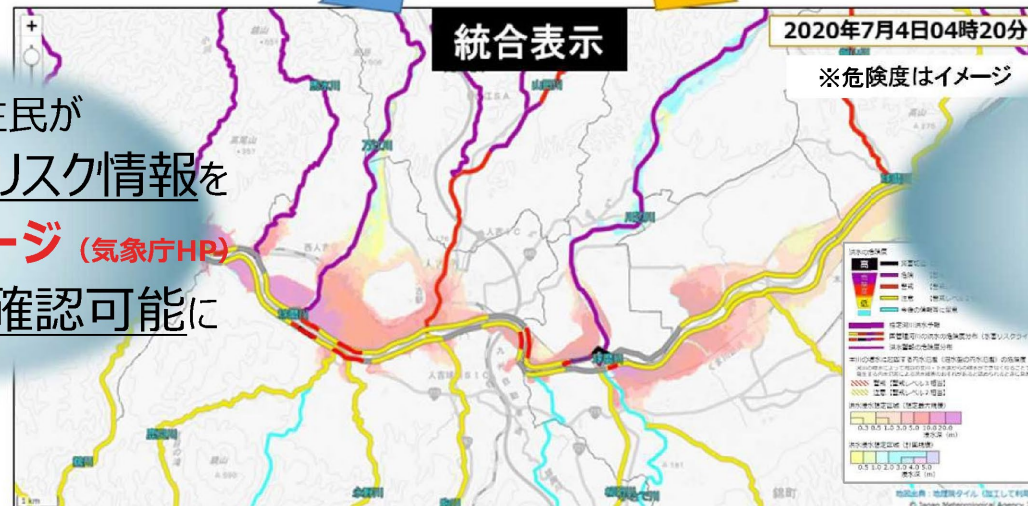
※ 中小河川の洪水危険度を伝える



## 統合表示

2020年7月4日04時20分

※危険度はイメージ



自治体・住民が  
それぞれの詳細なリスク情報を  
**洪水キキクルページ** (気象庁HP)  
でワンストップで確認可能に

令和5年  
2月中旬  
運用開始



## 水害リスクラインと洪水キキクルの特徴

	水害リスクライン	洪水キキクル
対象河川	国管理の指定河川洪水予報区域 (大河川)	水位周知河川及びその他の河川 (中小河川)
利用予測時間	6時間先まで	3時間先まで
危険度の示す意味※	該当箇所の越水・溢水の危険度	該当箇所の洪水災害発生の危険度
危険度の表示方法	河川の左右岸それぞれの危険度を 表示(概ね200m毎)	河川の流路に沿って危険度を表示 (概ね1kmメッシュ)
危険度判定の指標	縦断的な計算水位	流域雨量指数
危険度判定の基準	該当箇所の堤防の高さを基に 定めた基準水位と指標を比較	過去災害を基に 定めた基準値と指標を比較

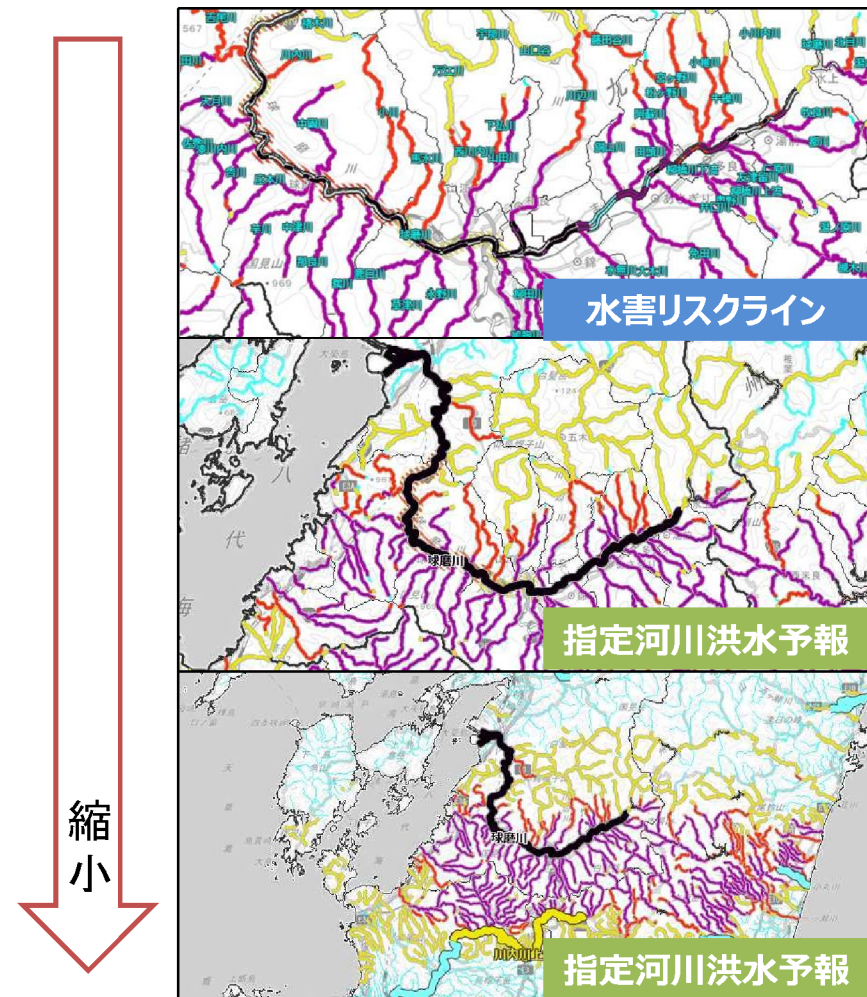
※該当箇所の危険度であり、同氾濫域における別の箇所からの浸水リスクまで考慮したものではない。

## 閲覧画面のイメージ

表示画面を拡大することにより、詳細な危険度の閲覧が可能。

- **拡大時**：「水害リスクライン」の詳細な危険度を表示
- **縮小時**：これまで通り「指定河川洪水予報の発表状況」を表示

- ※ 県の指定河川洪水予報区域：  
拡大時もこれまで通り「指定河川洪水予報の発表状況」を表示
- ※ 一定時間以上水害リスクラインが暴進した場合（障害等含む）：  
拡大時も「指定河川洪水予報の発表状況」を表示



## 具体的なイメージ(2022年8月4日 梯川)

- 2022年8月4日14時30分、石川県の梯川に警戒レベル5相当の氾濫発生情報を発表
- 水害リスクラインでは2時間以上前から上流部で危険度が高まっていることが確認可能  
→きめ細かく危険度が高まっている地点を把握できる

### 梯川氾濫発生情報

梯川洪水予報 第3号  
洪水警報  
令和4年8月4日14時30分  
金沢河川国道事務所 金沢地方気象台 共同発表

【警戒レベル5相当情報[洪水]】  
梯川では、(堤防越水による)氾濫が発生

(主文)

【警戒レベル5相当】災害が発生しています。梯川では、埴田町、鶴川町、遊泉寺町地先10.2kから10.6k(右岸)付近において(堤防越水による)氾濫が発生しました。直ちに、市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。

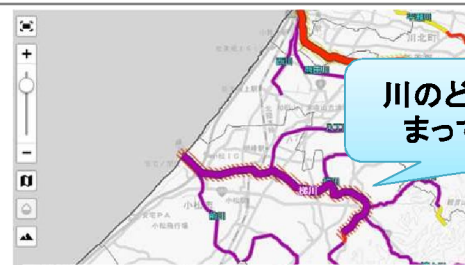
～ 以下略 ～



気象庁HPでの表示 (4日14時30分)

氾濫発生地域

2時間以上前



現在の気象庁HPでの表示 (4日12時)

川のどのあたりで危険度が高まっているか把握できない



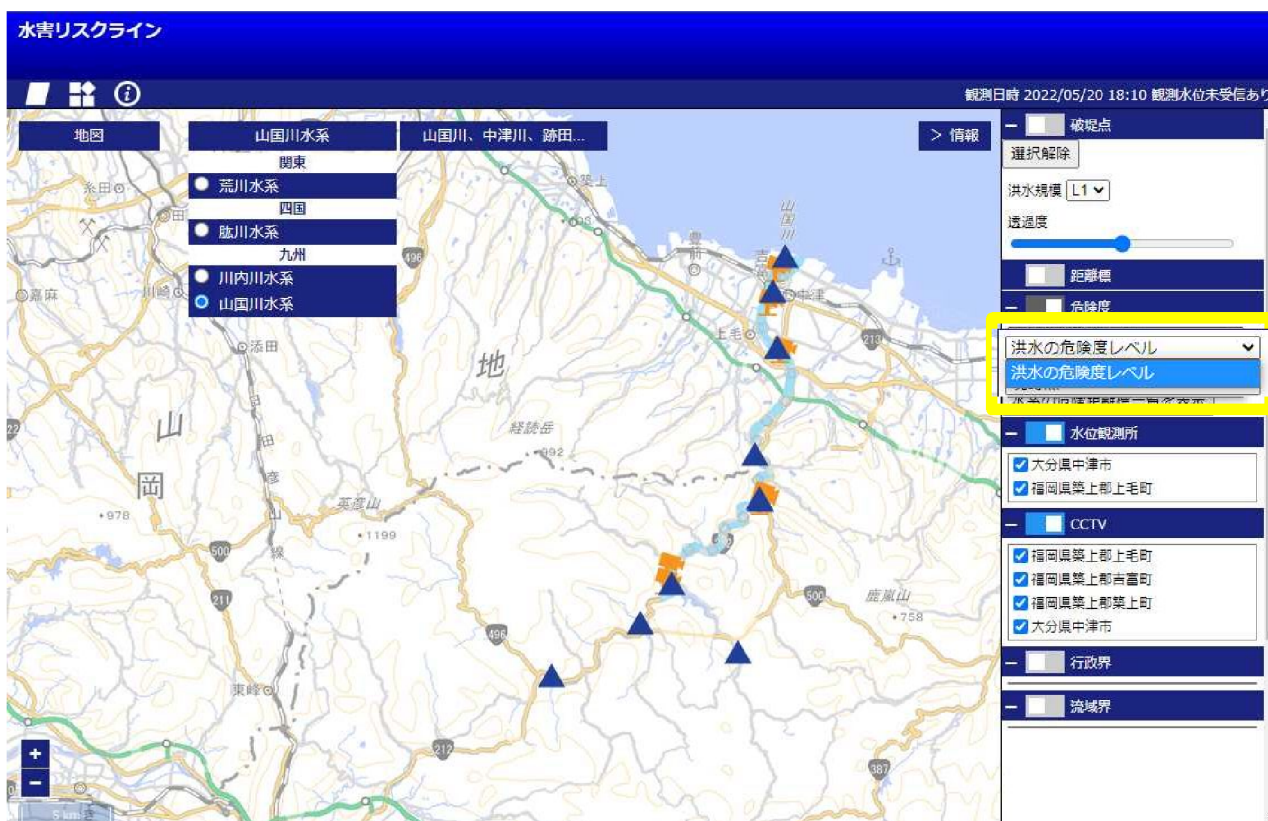
統合後の気象庁HPでの表示 (4日12時)

上流部で危険度が高まっていることが確認可能に



## 国管理河川の危険度分布(水害リスクライン)HPでの表示の改良

- 気象庁HPでの統合表示に合わせて、国管理河川の危険度分布(水害リスクライン)HPにおいても、同様の危険度分布を表示。
- さらに、現況の危険度に加え、6時間先までの危険度も閲覧可能となる。



**危険度**

洪水の危険度レベル

現時点

現時点

10分後

20分後

30分後

40分後

50分後

1時間後

2時間後

3時間後

4時間後

5時間後

6時間後

現時点に加えて、  
6時間先までの危険  
度が閲覧可能に！

## 浸水被害の把握

### ヘリによる調査

#### リアルタイム性

- ・悪天候時に調査不可
- ・夜間調査不可



### 痕跡調査

#### 機動力

- ・広範囲の調査不可
- ・多数の人材確保
- ・専門の技術者が必要



【既存の技術】

## ワンコイン浸水センサ

### センサの特徴

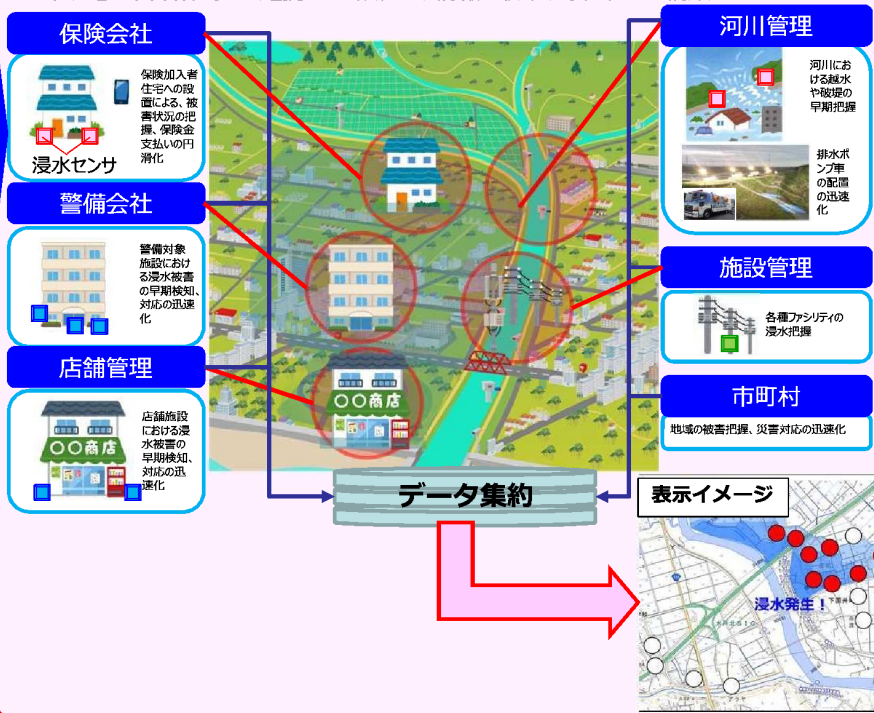
小型、長寿命かつ低コストで、堤防や流域内に多数の設置が可能な浸水センサ



- ・小型
- ・低コスト
- ・長寿命

### 官民連携による浸水域把握イメージ

堤防の越水・決壊などの状況や、地域における浸水状況の速やかな把握のため、浸水センサを企業や地方自治体等との連携のもと設置し、情報を収集する仕組みを構築



【技術開発】

## 活用イメージ

### 【災害時】

- ・早期の人員配置  
 (道路冠水による通行止め  
 避難所の開設 等)
- ・ポンプ車配置の検討

### 【復旧時】

- ・罹災証明(自治体等)の簡素化・迅速化
- ・保険の早期支払い
- ・災害復旧の早期対応

など

## スケジュール

### 令和3年11月～

- ・実証実験準備会合を開催
- ・実証実験に向けてセンサの仕様や実施内容を検討・確定

### 令和4年3月～

- ・実証実験参加企業の公募

### 令和4年出水期～

- ・モデル自治体において、センサを設置し、実証実験を開始
- ・必要に応じ、エリアを拡大

(実証実験モデル自治体)

- 愛知県岡崎市
- 兵庫県加古川市
- 兵庫県南あわじ市
- 徳島県美波町
- 佐賀県神埼市

## □ 令和3年9月～令和4年4月 公募により、以下の実証実験参加者を決定

### ① 実証実験モデル地区

実証実験参加者が浸水センサを現地に設置する箇所



➡ 5地区

### ② 浸水センサ製造者

低コスト、長寿命な浸水センサが供給可能な民間企業



光陽無線(株)/  
太陽誘電(株)



太平洋工業(株)



(株)リプロ

➡ 3社

### ③ 浸水センサ設置者

国交省が用意する浸水センサ(②のセンサ)を店舗や管理施設に設置・管理し、データ集約・共有を行う民間企業・団体、自治体等

### ④ 浸水センサ設置者

参加者が独自に用意した浸水センサを店舗や管理施設に設置・管理し、データ集約・共有を行う民間企業・団体等

➡ 5自治体  
10団体

## □ 上記の関係者により、約500個のセンサを設置



## R4台風15号による岡崎市内の浸水センサ検知箇所 (2022.9.23 15:00 ~ 24:00)

### 岡崎市福岡学区センサ設置箇所



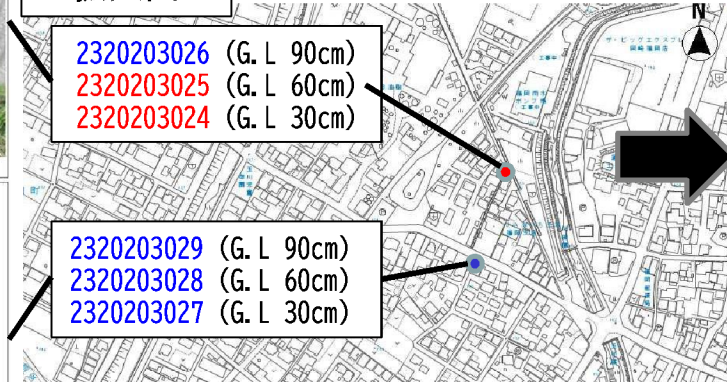
2022年9月23日夕方から夜のはじめ頃にかけて福岡学区内2箇所6個の浸水センサのうち1箇所2個の浸水センサにて浸水を検知

### 拡大図

2320203026 (G. L 90cm)  
2320203025 (G. L 60cm)  
2320203024 (G. L 30cm)

2320203029 (G. L 90cm)  
2320203028 (G. L 60cm)  
2320203027 (G. L 30cm)

● 検知あり  
● 検知なし



16:50



18:20



### 検知時間

センサID	15時00分	15時30分	16時00分	16時30分	17時00分	17時30分	18時00分	18時30分	19時00分	19時30分	20時00分	20時30分	21時00分	21時30分	22時00分	22時30分	23時00分	23時30分	24時00分	
2320203025																				
2320203024																				

■ 浸水を検知した時間帯



センサタイプ: (株)リプロ

15時25分  
大雨警報（土砂災害・浸水害）、洪水警報の発表に伴い、岡崎市災害対策本

18時06分  
非常配備体制を警戒体制から第一非常配備体制へ切り替え

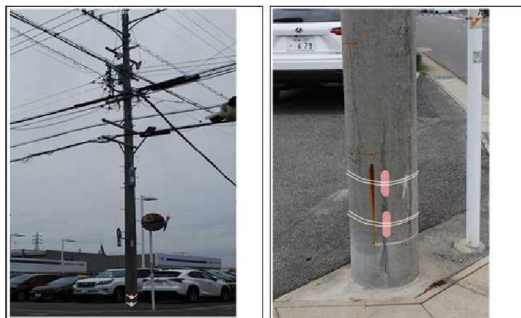
20時57分  
大雨警報（土砂災害・浸水害）解除  
非常配備体制を第一非常配備体制から

22時46分  
洪水警報解除  
岡崎市災害対策本部を廃止

- センサメーカーのサーバに今回設置したセンサの浸水検知情報が到達していることを確認
- 岡崎市はセンサメーカーの閲覧システムWEB画面上にて浸水情報を確認

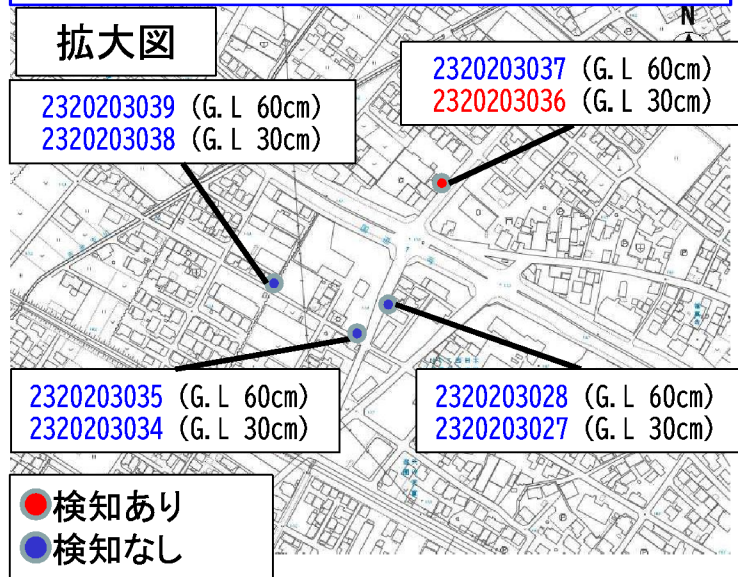
## R4台風15号による岡崎市内の浸水センサ検知箇所 (2022.9.23 15:00 ~ 24:00)

岡崎市矢作学区センサ設置箇所



2022年9月23日夕方から夜のはじめ頃にかけて矢作学区内4箇所8個の浸水センサのうち1箇所1個の浸水センサにて浸水を検知

拡大図



浸水センサ設置箇所



検知時間

センサID	15時00分	15時30分	16時00分	16時30分	17時00分	17時30分	18時00分	18時30分	19時00分	19時30分	20時00分	20時30分	21時00分	21時30分	22時00分	22時30分	23時00分	23時30分	24時00分	
2320203036																				

■ 浸水を検知した時間帯



センサタイプ: (株)リプロ

15時25分  
大雨警報（土砂災害・浸水害）、洪水警報の発表に伴い、岡崎市災害対策本

18時06分  
非常配備体制を警戒体制から第一非常配備体制へ切り替え

20時57分  
大雨警報（土砂災害・浸水害）解除  
非常配備体制を第一非常配備体制から

22時46分  
洪水警報解除  
岡崎市災害対策本部を廃止

- センサメーカーのサーバに今回設置したセンサの浸水検知情報が到達していることを確認
- 岡崎市はセンサメーカーの閲覧システムWEB画面上にて浸水情報を確認



# ワンコイン浸水センサ ～官民連携による流域の浸水状況把握～

R5年度 第1回大規模氾濫減災協議会 合同協議会

ワンコイン浸水センサ実証実験 令和5年度参加者一覧（令和5年3月末時点）

- 浸水の危険性がある地域に浸水センサを多数設置し、リアルタイムにその状況を把握する実証実験を実施しています。
- 令和5年度に継続実施する実証実験において、追加のモデル地区となる自治体、及びモデル地区において自らの施設等に浸水センサを設置・管理する企業・団体等を公募により決定しました。

## ○実証実験の参加者

今回の公募により、34の自治体・17の企業・団体等を追加参加者として、決定しました。今後は各関係者で調整し、浸水センサの設置を進めていきます。  
※参加者は令和5年3月末時点の状況であり、今後、追加・変更等が生じる場合があります。



実証実験で設置した浸水センサの設置事例

自治体名	企業・団体名（代表者） ※左記自治体内でセンサを設置する企業・団体等
北海道美瑛町	
北海道新得町	(株) 水エリサーチ
北海道音更町	(株) 北開水工コンサルタント
青森県鯉ヶ沢町	青森県県土整備部河川砂防課
宮城県大崎市	一般財団法人 日本気象協会
山形県中山町	(株) ティデイー
山形県川西町	(株) ティデイー
福島県伊達市	太陽誘電 (株)
茨城県境町	一般財団法人 日本気象協会
群馬県高崎市	太陽誘電 (株)
埼玉県川越市	エヌエスティ・グローバルスト (株) 坂戸、鶴ヶ島下水道組合 朝日航洋 (株)
埼玉県坂戸市	エヌエスティ・グローバルスト (株) 坂戸、鶴ヶ島下水道組合 一般財団法人 日本気象協会
千葉県野田市	エヌエスティ・グローバルスト (株)
千葉県佐倉市	(株) 広域高速ネット二九六
千葉県酒々井町	(株) 広域高速ネット二九六
岐阜県大垣市	(株) オリエンタルコンサルタンツ
静岡県磐田市	
静岡県函南町	エヌエスティ・グローバルスト (株) (損害保険ジャパン (株)) (中央大学研究開発機構) (あいおいニッセイ同和損害保険 (株)) セイコーインスツル (株)
愛知県豊田市	
三重県津市	AIG損害保険 (株)
三重県桑名市	
兵庫県姫路市	旭光電機 (株) (中央大学研究開発機構) (オブテックス (株)) (東京海上日動火災保険 (株))
(兵庫県古川市)	
兵庫県豊岡市	(株) オーク
兵庫県三田市	旭光電機 (株)
兵庫県朝来市	
(兵庫県南あわじ市)	(ワンコイン浸水センサ実証実験共同体) 喜多機械産業 (株)
兵庫県養父市	
島根県江津市	
島根県川本町	
岡山県岡山市	国立大学法人岡山大学
(徳島県美波町)	喜多機械産業 (株)
高知県四万十市	
高知県いの町	
福岡県久留米市	
(佐賀県神埼市)	( (有) ジョイックス交通)
大分県日田市	
富崎県都城市	

※ ( ) は令和4年度からの継続参加者。  
※令和5年3月末時点の参加者であり、今後、追加・変更等が生じる場合があります。

## 市町村災害対応統合システム（IDR4M）開発の背景と目的

### 市町村が避難判断を行う際の課題

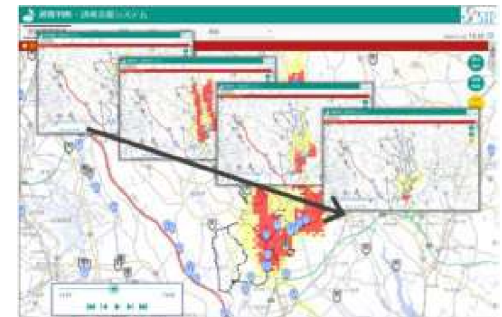
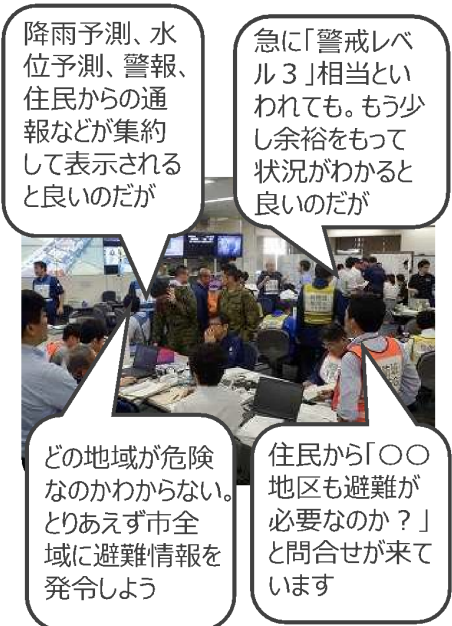
- ・ **リードタイムを十分確保して避難の準備を行いたいのに、どこで、いつ災害リスクが高まるのかが分かる情報がない**
- ・ **災害リスクが高まってくると各方面から重要情報が同時多発で入ってくるので処理しきれない**
- ・ **災害リスクが高まっている真に避難が必要な地域に可能な限り絞り込んで避難情報を発令したい**



課題解決のためIDR4Mを開発

### IDR4Mとは

- ・ **市町村が十分余裕を持って小エリア毎にタイミングよく避難情報を発令できるよう支援情報を提供する**



## 市町村災害対応統合システム（IDR4M）の概要

避難指示を発令する市町村長にとって現状とは・・・

- ① とりあえず全域に避難指示を発令するということがないよう、**どの地区で災害リスクが高まっているのかわかる情報**が欲しい。
- ② 急に「警戒レベル3」相当と言われたときでも、**時間に余裕をもって避難指示相当の状況に達する見込みがわかる**ようにしてほしい。
- ③ 避難情報を発令する頃は役場も大変な状況なので、その**意思決定に必要な情報を一度にまとめて見られる**ようにしてほしい。

**IDR4Mにお任せください！！**

### IDR4Mが提供する情報

WEBブラウザ上で利用可能。

IDとパスワードがあれば、いつでも、どこでも情報を入手可能

- ① **小エリアごとの災害リスクの状況を地図や一覧表で表示**



B市長の体験談

IDR4Mの小エリアごとの災害リスク情報により、より多くの住民の避難行動につながるきめ細かい発令ができる。

- ② **6時間先までの災害リスクの推移を10分更新で表示**

IDR4Mの6時間先までの予測により早めに準備、発令が可能となり、住民の余裕を持った避難につながるのでありがたい。



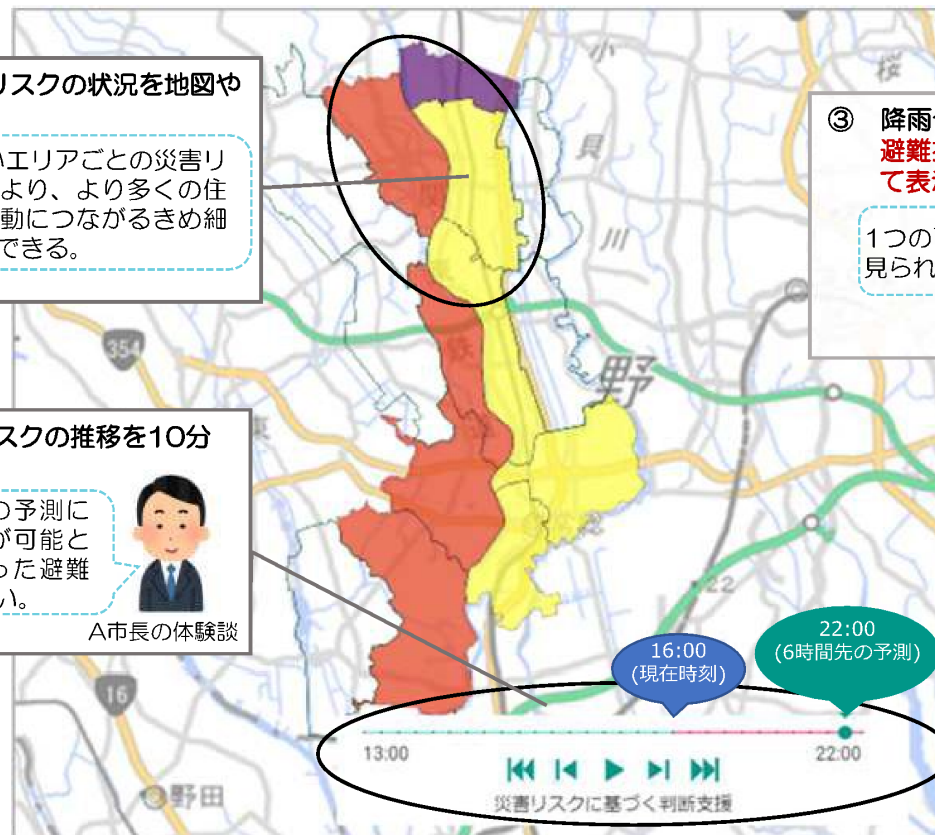
A市長の体験談

- ③ **降雨や水位予測、気象警報や警戒情報など避難指示の意思決定に必要な情報をまとめて表示**

1つの画面で雨や水位などの情報がみられるので使いやすい。



C市防災担当者の体験談



### IDR4Mに様々な情報を集約

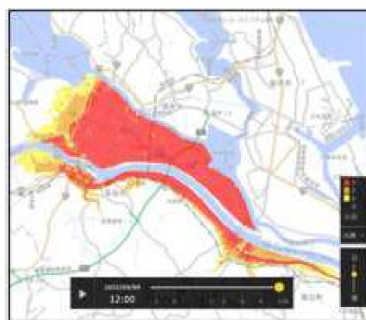
<b>気象情報</b> (降雨予測等)	<b>水位情報</b> (川の防災情報等)
<b>基礎情報</b> (浸水想定区域等)	<b>リアルタイム情報</b> (気象庁発表情報等)



## 市町村災害対応統合システム（IDR4M）の機能について

- ① **ハザード等の予測情報の提供**：6時間先までのハザード・災害リスク・判断支援情報をタイムスライダバーにより自在に地図上に表示します
- ② **ポータルサイトとしての活用**：避難判断に必要な気象災害情報等をウェブブラウザで閲覧できます
- ③ **発令地域ごとの災害リスク提供**：市区町村ごとに任意のエリアで発令地域を表示します（例：学区・町丁目等）

### ①ハザード等の予測情報の提供



ハザード（洪水）

50mメッシュ単位、10分間隔更新、6時間先まで予測



ハザード（土砂災害）

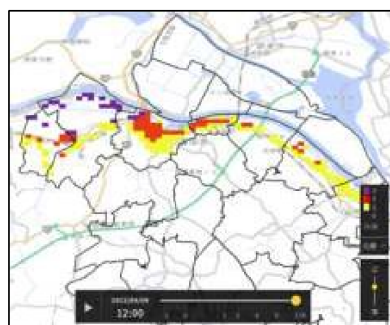


地域の脆弱性

避難所までの避難所要時間、人口等で評価



ハザードと地域の脆弱性を総合して災害リスクを評価

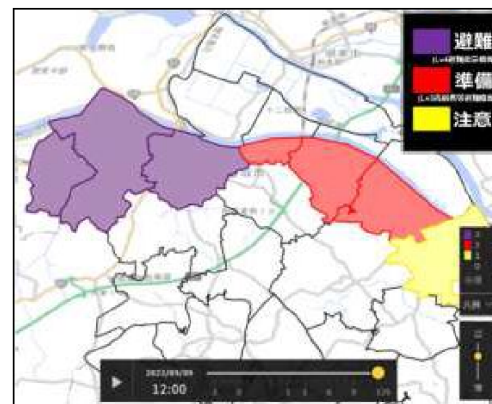


災害リスク

250mメッシュ単位、10分間隔更新、6時間先まで予測



### ③発令地域ごとの災害リスク提供



判断支援

発令地区単位（学区・町丁目等）の災害リスクを10分間隔更新、6時間先までの予測として提供

### ②ポータルサイトとしての活用

ポータルサイトとして降水量、河川水位、気象警報等の集約表示



降水量



河川水位



気象警報

発表履歴	
9/5 14:45	大雨特別警報発表
9/5 13:55	大雨警報発表
9/5 12:28	大雨注意報発表

## IDR4Mの社会実験の概要

### 【目的】

国土交通省では、流域における水害対策向上のため、都道府県や市区町村と連携してIDR4M※を流域単位で導入拡大し、その有効性を確認する社会実験を行います。流域全体を統合した精度の高い水害リスク情報を提供することにより、流域治水の推進を加速化します。

### 【期間（予定）】

令和5年度～7年度

### 【施策内容】

- IDR4Mについて、SIP第2期のモデル市区町村の周辺自治体や導入を希望する自治体に導入し、全国展開を進めます。
- 国（河川事務所）、都道府県、市区町村でIDR4Mを活用して情報共有を行い、的確な災害対応や避難判断を支援し、IDR4Mの使いやすさを向上させます。
- 運用の安定性確保や効率化、運用コストの低廉化を図り、IDR4Mの持続的な運用体制を確立します。
- 自治体が既に所有している防災システム上でIDR4Mの解析情報等を活用できるよう、API提供の実証実験を行う。

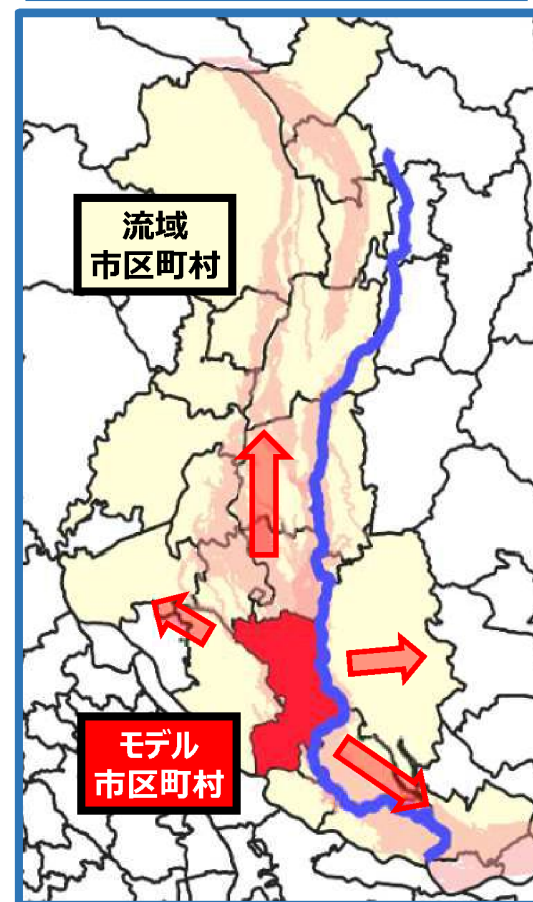
### 【協力依頼内容】

- IDR4M構築に必要な情報の提供をお願いします。
- 出水期においてIDR4Mの画面を閲覧頂き、システム改善等の意見があればご提出をお願いします。

### 【IDR4Mの利用料】

- 社会実験の期間中はIDR4Mを無料でお使いいただけます。
- 社会実験後の運用体制、費用負担のあり方等については、社会実験の実施状況を踏まえて並行して検討を進めます。
- 社会実験後にIDR4Mの利用を継続するかは自治体の任意です。

### 流域治水への導入イメージ



## 協力依頼内容 (IDR4M構築に必要な情報の提供)

### ▶IDR4M構築に必要な情報提供のお願い

河川情報センターから情報提供依頼をしますので、ご協力をお願いします。

都道府県：土砂災害ハザードの評価に必要な**土砂災害警戒情報発表基準(CL)データ**の提供をお願いします。

市町村：《ハザード導入》については情報の提供は不要です。

《リスク導入》の対象となった自治体は、**下表の項目の情報提供**をお願いします。

※洪水ハザードの評価に必要な情報として、国から水害リスクライン、河川事務所から浸水想定区域データを提供いただきます。

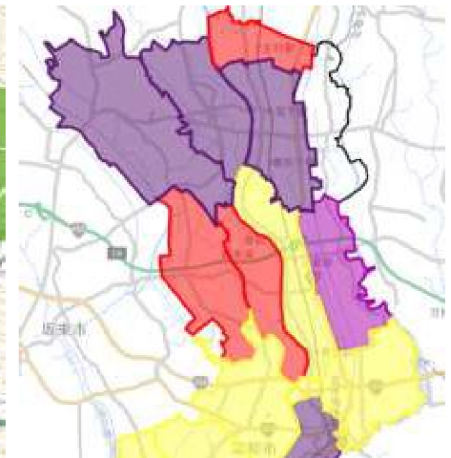
情報提供項目 (《リスク導入》の市町村が対象)

項目名	内容
避難所情報	最新の避難所名称、位置（緯度経度）、種別
避難判断情報の発令基準	見直し中の発令基準も含む
発令地域の一覧 (発令単位)	発令地域の名称および管理番号※1、その範囲が分かる情報※2 ※1：○○小学校区、△△町や□□組等と、ユニークな番号 ※2：GISのポリゴンデータまたは手書きした紙地図など

発令単位の例



集落単位で発令 (手書き)



小学校区単位で発令 (GISデータ)